

常なる磐

つねなる いわ

令和2年10月23日(金)
その2号

◇ 明日は学習発表会

学習発表会の演目および日程は、以下のとおり。

- ① 8:45～ 9:00 <1・2年生> ①1年生朗読劇「サラダでげんき」
②2年生朗読劇「ニャーゴ」

※来場者入れ替え.....

- ② 9:30～ 9:40 <5・6年生> ③伝統芸能「常磐獅子」

※来場者入れ替え.....

- ③ 10:00～10:15 <3・4年生> ④3年生「リコーダー演奏」

⑤4年生「篠笛演奏」

⑥3・4年生合同

朗読劇「モチモチの木」

⑦3・4年生合同合唱

※来場者入れ替え.....

- ④ 10:45～11:00 <5・6年生> ⑧5・6年生合同合唱

⑨5・6年生合同英語劇

⑩5・6年生合同合奏

ごらんのとおり、演目はバラエティーに富む。

特徴的なのは、まずは5・6年の英語劇。学習指導要領の改訂によって小学校英語が必須教科となり、それを演目に組み入れた。時勢に対応した新しさがある。

そして伝統芸能「常磐獅子」。獅子舞の演舞を篠笛の音色で彩る。負担軽減を考慮して演目から外すことも考えたが、子供のやりたい気持ちと教師のやらせたい思いから、コンパクトな形での発表に結びつけた。「常磐獅子」に加われなかった4年生は独自に「篠笛演奏」で対応し、次年度以降につなげていく形を取った。

見逃せないのが、演目が10にわたるといふ演目数の多さといえよう。

発表時間は短めといえども、中学年の3・4年生はそれぞれ3演目、高学年の5・6年生は4演目と複数をこなす。学年が上がるにつれて内容もレベルアップする。負担などみじんも見せず、意気揚々と発表の準備を行う子供たちには、たくましさを感じるとともに、どこまでも伸びる無限の可能性を感じてやまない。

さらに学習発表会の秘密兵器がある。教育委員会の取り計らいによって全児童に配付した「マウスシールド」である。これが「発声」と「歌唱」を可能にした。発表する児童と観客席との距離はかなりあるが、その点をご理解いただきたい。保護者の皆様には、ぜひ学校に足を運んでいただき、学校での日々の学びの成果と精神的・人間的な成長を発表する子供たちの姿から感じ取っていただきたい。